2025 年 4 月 11 日

三菱 UFJ 信託銀行株式会社

デジタル優待サポートサービスの取扱開始について

三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長：窪田 博（くぼた ひろし）、以下 三菱 UFJ 信託銀行）は株式会社ギフトパッド（代表取締役：園田 幸央（そのだ ゆきひろ）、以下 ギフトパッド社）と提携し、株主優待制度に関する優待品申込や電子ギフト・電子クーポンなどのデジタル優待券受取といった事務を、インターネットでワンストップに提供するデジタル優待サポートサービス（以下 本サービス）を 4 月より開始いたしました。

■本サービスの狙いと背景

国内上場企業での政策保有株式削減や 2024 年 1 月より開始された新 NISA による個人投資家の増加などを背景に、中長期保有目的の個人・機関投資家双方の拡充を検討する企業が増えており、個人株主の中長期保有を狙いとして保有期間の概念を新たに取り入れた株主優待制度を開始する企業が増加傾向にあります。

インターネットを利用しての優待品申込やデジタル優待券の活用など、株主優待制度においてもデジタルトランスフォーメーション（以下 DX）は進みつつありますが、まだまだ多くは紙ベースであり、集計から発送に至るまで非常に人手のかかる業務となっています。

また株主においても、優待品申込から利用まで紙または現物が必要なため、申込の手間や受取後の管理、利用時の持ち歩き等の不便さが残っており、DX 促進において課題が存在していると認識しています。

上記課題に対し電子ギフト提供会社であるギフトパッド社と提携し、株主優待制度の DX 促進策の一つとして本サービスの提供を開始いたしました。

＜デジタル優待サポートサービスの意義・目的＞

① 上場企業の株主優待制度における受付・配送事務作業軽減
② 優待品の DX 化による株主の利便性向上
③ 上場企業と個人株主との安定的な信頼関係構築
④ 優待品申込書や紙・現物優待品の輸送量削減による軽減、カーボンニュートラル促進

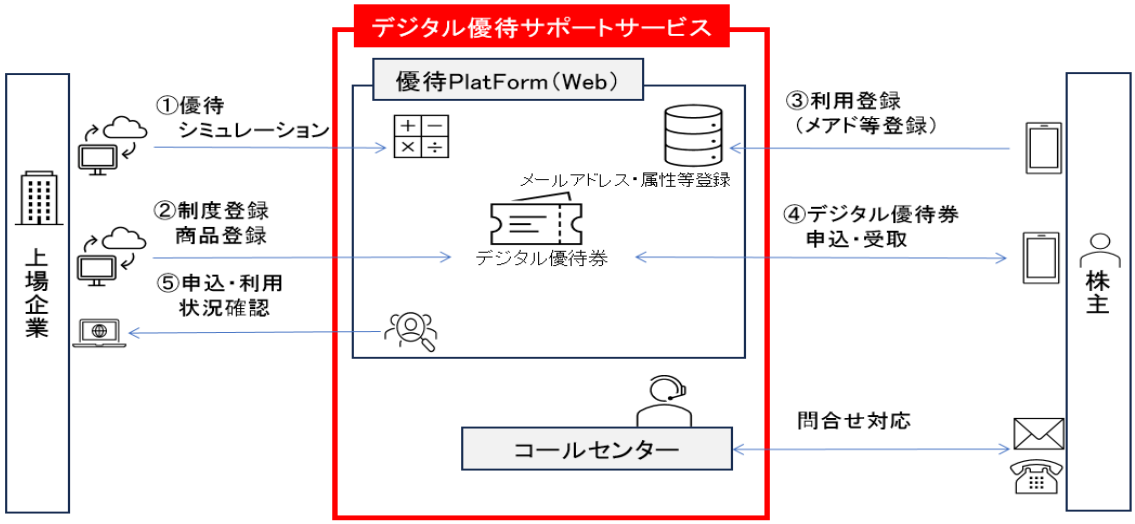
加えて本サービスでは、優待品申込時に入力された株主情報を、個人株主との安定的な信頼関係構築のための様々な活動へ活用することが可能となります。

なお、株式名簿管理人である信託銀行がインターネットを活用した株主優待申込サポートサービスを提供するのは、本邦初の試みとなります。

■本サービスの概要

まず株主優待制度を行う上場企業が、本サービスを通じ株主の保有株数や保有期間、利回りなどの情報を参考に優待内容についてのシミュレーションを実施し、優待制度の登録や申込サイトの表示設定を行います。株主は申込サイトにパソコンやスマートフォンでアクセスし、優待品を申込みます。申し込んだ優待品は申込サイトから受取り利用できます。

＜スキーム図＞ デジタル優待券の例



今後、三菱 UFJ 信託銀行は株主名簿管理人として、本サービス以外にも、株式実務の DX に向けた取り組みを実現し、株式発行企業と株主の適切な関係支援を行ってまいります。

＜株式会社ギフトパッド＞

所在地：

＜本社＞　　大阪府大阪市西区南堀江 3-9-13 堀江家具 WEST ビルディング 4F

＜東京オフィス＞東京都中央区日本橋 3-2-9 三晶ビル 5F

代表取締役：園田　幸央

資本金：100 百万円（2022 年 11 月末現在）

設立：2011 年 12 月

URL：https://giftpad.co.jp/